



Noritake

第 142 期
中間報告書

2022年4月1日 ➡ 2022年9月30日

株式会社
ノリタケカンパニーリミテド
証券コード：5331



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より当社をご支援いただきまして、心より厚く御礼申し上げます。

ここにノリタケグループの第142期第2四半期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の経営成績と今後の取り組みについてご報告申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長 **加藤 博**

第142期第2四半期の連結業績のご報告

当第2四半期は、国内では、新型コロナウイルス感染対策と社会経済活動の両立を背景に、個人消費に回復の兆しがみられ、企業収益が改善する中で設備投資も徐々に回復するなど、景気は緩やかに持ち直しました。海外では、米国や欧州は高インフレが景気を押し下げたものの、緩やかな回復が続きました。中国はゼロコロナ政策により経済活動が停滞しましたが、持ち直しの動きがみられます。しかしながら、地政学的リスクの高まり、資源価格の高騰、各国の利上げによる金融不安等、今後の世界経済の先行きに対する懸念が強まっています。

このような経済情勢の下、当社は新型コロナウイルス感染症の予防に最大限の配慮をしながら積極的な事業活動を継続し、業績を伸ばすことができました。

その結果、当第2四半期の連結売上高は678億1百万円、連結営業利益は45億33百万円、連結経常利益は65億80百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は51億75百万円となりました。

中間配当につきましては、今後の業績の見通しや財務状況を総合的に勘案した結果、1株当たり90円とすることといたしました。株主の皆様には、なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

第142期(2023年3月期)連結業績予想

売上高	1,420 億円
営業利益	90 億円
経常利益	125 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	100 億円

中期経営計画への取り組み

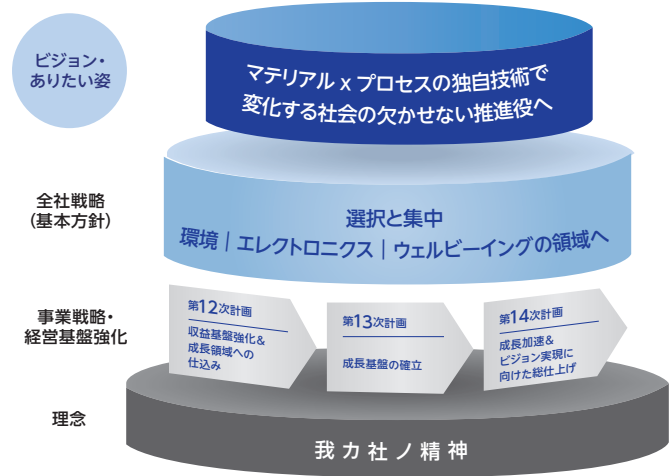
当社は本年を初年度とする2024年度までの第12次中期経営計画(以下、第12次計画)をスタートしました。

第12次計画の策定にあたって、2030年度における当社グループの長期ビジョン(ありたい姿)として「マテリアル×プロセスの独自技術で変化する社会の欠かせない推進役へ」を掲げました。その実現に向けて全社戦略(基本方針)である「選択と集中」を進め、現状の基盤領域(内燃機関、窯業等)から成長領域(環境、エレクトロニクス、ウェルビーイング)へ事業領域の転換を図ります。

2030年度に向けて第12次計画は、「収益基盤の強化と成長領域への仕込み」の期間と位置付けます。「収益基盤の強化」として、不採算商品・事業の再編、収益改善・合理化を進め、「成長領域への仕込み」として、増産・拡販への対応、経営基盤の強化を進めています。

特に、経営基盤の強化としては、「新事業の創出」「組織風土の改革」「サステナビリティ経営体制の整備」「DXの推進」の4つのテーマで全社横断の取り組みを開始しました。「サステナビリティ経営体制の整備」の取り組みの一つとして、2022年8月に気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に賛同し、情報開示を実施しました。今後は気候変動に限らず、当社グループとしてサステナビリティ経営を推進する組織の新設など、体制の強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、こうした当社の取り組みについてご理解をいただき、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2024年度(2025年3月期)目標

売上高	1,470 億円
営業利益	130 億円
営業利益率	9 %
自己資本利益率(ROE)	9 %
フリーキャッシュフロー(FCF)	200 億円 (3年間累計)

工業機材事業

主要製品

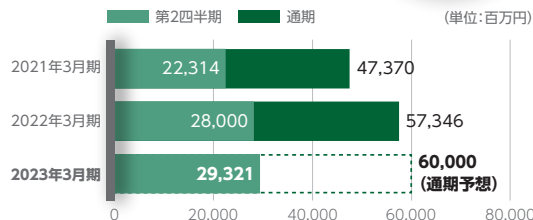
研削砥石、ダイヤモンド工具、CBN工具、研磨布紙、研削・研磨関連商品(研削油剤等)

売上高構成比率

43.2%

国内では、主要顧客である自動車業界の生産が大幅に減少し、その影響が鉄鋼、ベアリング業界にも広がったことから、売上は減少しました。海外では北米及び東南アジアにおいて自動車関連向けが減少したものの、ベアリング向けが堅調に推移しました。中国では上海のロックダウンの落ち込みから各業種で徐々に回復し、海外全体では売上は増加しました。オフセット砥石などの汎用砥石は、国内・海外ともに前年並みとなりました。研磨布紙は、概ね横ばいで推移しました。

その結果、工業機材事業の売上高は、293億21百万円(前年同期比4.7%増加)、営業利益は14億78百万円(前年同期比17.9%増加)となりました。



歯車研削用ビット砥石
「ギヤエース」

セラミック・マテリアル事業

主要製品

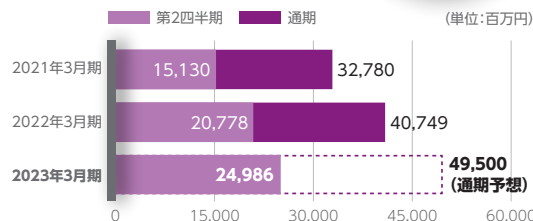
電子ペースト、厚膜回路基板、セラミックコア、触媒担体、転写紙、石膏、セラミック原料、電子部品材料、蛍光表示管及び同モジュール等

売上高構成比率

36.9%

電子ペーストは、顧客の在庫調整の影響を受け、売上は大きく減少しました。電子部品材料は、自動車向けは堅調に推移したものの通信分野向けが低迷し、売上は減少しました。厚膜回路基板は、一部製品の価格改定等により、売上は増加しました。石膏は東南アジア及びアフリカ向けが堅調に推移し、セラミックコアは需要が回復傾向にあることから、いずれも売上は増加しました。蛍光表示管は、コロナ禍からの需要回復と為替の影響により、売上は増加しました。セラミック原料は耐熱ガラス及び強化ガラス用が大きく増加しました。

その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、249億86百万円(前年同期比20.3%増加)、営業利益は27億97百万円(前年同期比3.0%減少)となりました。



セラミックコア

エンジニアリング事業

主要製品

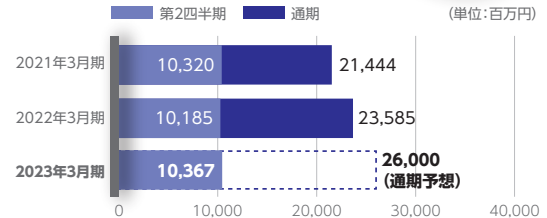
高効率焼成炉ローラーハースキルン、遠赤外線乾燥炉、混合攪拌装置(スタティックミキサー等)、クーラント濾過装置、超硬丸鋸切断機、ロードカッター等

売上高構成比率

15.3%

主力の乾燥炉及び焼成炉は、リチウムイオン電池及び電子部品分野が堅調に推移したことにより、売上げは増加しました。混合攪拌装置は、主要分野の食品向けは低調でしたが、新分野である環境・半導体向けが補い、売上げは増加しました。濾過装置は、前年の設備投資抑制が影響し、国内が大きく減少しました。超硬丸鋸切断機は、自動車部品向けが低調で、売上げは減少しました。ロードカッターは前年並みとなりました。

その結果、エンジニアリング事業の売上高は、103億67百万円(前年同期比1.8%増加)、営業利益は5億64百万円(前年同期比27.2%減少)となりました。



リチウムイオン電池用焼成炉

食器事業

主要製品

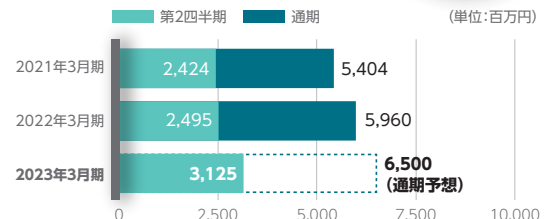
陶磁器食器、その他食器関連商品、装飾・美術品等

売上高構成比率

4.6%

国内は、未だコロナ禍の影響が残るものの、ホテル向けの受注が回復傾向にあることに加え、直営店とオンラインの販売が増加したことから、売上げは増加しました。海外は、米国では主要顧客の在庫調整の影響を受け低迷しましたが、アジア地域において中国・インド向けの販売が伸長したことから、海外全体では売上げは増加しました。

その結果、食器事業の売上高は、31億25百万円(前年同期比25.3%増加)、3億7百万円の営業損失となりました。



電子レンジ対応の金加飾「ソフィランス」

第2四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	第142期 (第2四半期末) 2022年9月30日現在	第141期 (前期末) 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	84,076	73,660
固定資産	91,284	89,902
有形固定資産	45,512	44,917
無形固定資産	1,806	1,588
投資その他の資産	43,965	43,396
資産合計	175,361	163,562
負債の部		
流動負債	40,300	35,234
固定負債	9,406	9,527
負債合計	49,706	44,762
純資産の部		
株主資本	109,383	104,957
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,593	18,502
利益剰余金	76,412	71,983
自己株式	△1,253	△1,161
その他の包括利益累計額	15,501	13,163
その他有価証券評価差額金	13,397	13,647
為替換算調整勘定	300	△2,502
退職給付に係る調整累計額	1,803	2,018
非支配株主持分	769	679
純資産合計	125,654	118,800
負債純資産合計	175,361	163,562

第2四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	第142期 (第2四半期) 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	第141期 (第2四半期) 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上高	67,801	61,459
売上原価	50,176	44,633
売上総利益	17,625	16,825
販売費及び一般管理費	13,092	12,630
営業利益	4,533	4,194
営業外収益	2,158	1,625
営業外費用	111	134
経常利益	6,580	5,686
特別利益	2	4
特別損失	153	513
税金等調整前四半期純利益	6,429	5,177
法人税、住民税及び事業税	1,363	1,140
法人税等調整額	△115	△178
四半期純利益	5,180	4,215
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,175	4,206

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

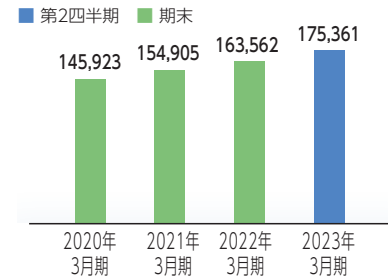
(単位：百万円)

科 目	第142期 (第2四半期) 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	第141期 (第2四半期) 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
	営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,649	△2,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,795	△2,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	436	235
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 1,783	525
現金及び現金同等物の期首残高	11,733	9,741
海外子会社の決算報告期間統一に伴う 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	415	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,366	10,266

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

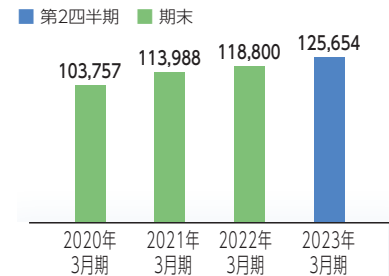
連結総資産

(単位：百万円)



連結純資産

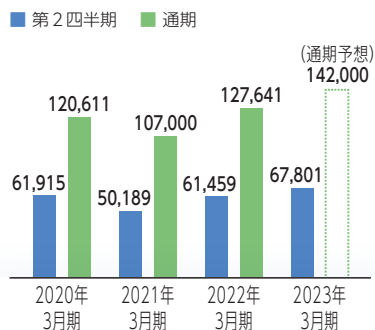
(単位：百万円)



業績ハイライト

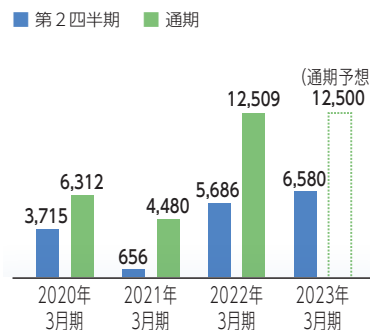
連結売上高

(単位：百万円)



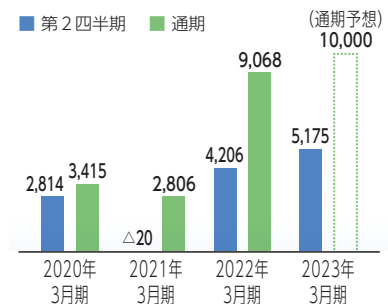
連結経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位：百万円)





気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)の提言に賛同



ノリタケグループは2022年8月に金融安定理事会 (FSB) が設けた「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」の提言に賛同しました。

ノリタケグループは創業精神である“良品・輸出・共栄”の理念のもとものづくりを行う企業として、地球環境の保全を重要な経営課題の一つと位置付け、事業活動を通じて「持続可能な社会」の実現を目指してきました。気候変動の影響が年々深刻になる中、これまで環境との調和を目指してきたノリタケグループとして、多くのお客様をはじめとしたステークホルダーの皆様への責任を果たすため、TCFD提言に則ってリスク・機会の特定と対応策を検討し、経営に反映していきます。

特に、今後ますます重要性を増すCO₂排出量の削減については、「低炭素社会への移行」「2050年のCO₂排出量ネットゼロ」に向けて、2024年度に2018年度比25%削減、2030年度に同50%削減を目標に設定しました。従来から進めてきた省エネ・省資源化や再エネ導入、環境配慮型製品の開発などを基盤として、低炭素社会への移行に向けた取り組みをさらに推進していきます。



太陽光発電施設

再生可能エネルギーの利用拡大による地球温暖化対策として、事業所の敷地を有効活用した太陽光発電設備を国内6か所で稼働しており、年間1,600トン以上のCO₂削減に貢献しています。

TCFD提言に基づく情報開示

詳細は当社コーポレートサイトをご覧ください。

 URL ▶ <https://www.noritake.co.jp/company/csr/esg/environment/tcfd/>





日本レヂボン株式会社と 株式会社ノリタケコーテッドアブレーシブが合併

ノリタケグループでは、第12次中期経営計画に位置付ける「収益基盤の強化」として、事業の再編、収益改善・合理化を進めています。工業機材事業においては、汎用砥石の販売窓口を日本レヂボン株式会社(以下、日本レヂボン)に統合するなど、これまで再編の準備を進めてきました。この度、連結子会社である日本レヂボンと株式会社ノリタケコーテッドアブレーシブ(以下、NCA)を2022年10月1日付で合併し、汎用品事業を一本化しました。これにより、オーダーメイド品と汎用品との事業の再編が完了し、効率的な事業体制を構築しました。

切断・オフセット砥石などの汎用砥石を製造販売する日本レヂボンと研磨布紙を製造販売するNCAが一つの会社として事業を展開することで、ビジネスのシナジーを創出し、生産拠点の再編や業務のIT基盤を共通化することで基幹事業(砥石・研磨布紙)の効率化を図ります。また、ノリタケグループの全社戦略である「基盤領域から成長領域への事業領域の転換」を図るため、マーケティングを強化し、成長市場である電子・半導体産業向け製品の開発などに取り組むことで収益の拡大を目指します。

合併後の会社概要

(1)名称	日本レヂボン株式会社
(2)所在地	大阪市西区北堀江1丁目22番10号
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 村居 浩之
(4)事業内容	汎用砥石・研磨布紙の製造、販売
(5)資本金	11億2,820万円
(6)合併年月日	2022年10月1日
(7)株主構成	株式会社ノリタケカンパニーリミテド 100%



会社概要 / 株式の状況

(2022年9月30日現在)

会社概要

創 立	1904年1月1日(合名会社)
設 立	1917年7月20日
資 本 金	156億3,230万4,225円
本 社	名古屋市西区則武新町三丁目1番36号
従 業 員 数	1,864名(連結4,958名)
主な連結対象会社	日本レヂボン株式会社 株式会社ノリタケコーテッドアブレーション 株式会社ゼンノリタケ 共立マテリアル株式会社 Noritake Co., Inc. Noritake Lanka Porcelain (Private) Limited (注)上記を含む連結対象会社23社、持分法適用会社4社 なお、日本レヂボン株式会社と株式会社ノリタケコーテッドアブレーションは2022年10月1日に合併しました。

役員一覧

取締役

代表取締役会長	小 倉 忠
代表取締役社長執行役員	加 藤 博
代表取締役副社長執行役員	東 山 明
取締役常務執行役員	夫 馬 裕 子
社 外 取 締 役	友 添 雅 直
社 外 取 締 役	山 本 良 一

監査役

常 勤 監 査 役	左 合 澄 人
常 勤 監 査 役	吉 田 和 正
社 外 監 査 役	猿 渡 辰 彦
社 外 監 査 役	森 崎 孝

執行役員

専務執行役員	志 手 秀 司
常務執行役員	永 田 滉
常務執行役員	堀 江 雅 彦
常務執行役員	寄 田 浩
常務執行役員	岡 部 信
常務執行役員	村 居 浩 之
執行役員	前 田 智 朗
執行役員	鷓 飼 直 行
執行役員	中 村 吉 雅

執行役員待遇

執行役員待遇	近 藤 朋 治
執行役員待遇	加 藤 真 示
執行役員待遇	森 下 貴 弘
執行役員待遇	片 田 智 之
執行役員待遇	柴 田 英 之

株式の状況

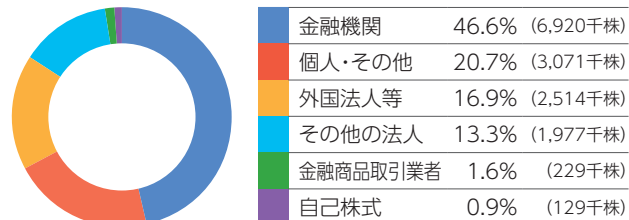
発行可能株式総数	39,750,000株
発行済株式の総数	14,842,849株
株 主 数	10,718名

大株主(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,608	10.93
明治安田生命保険相互会社	1,291	8.77
第一生命保険株式会社	1,041	7.08
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	657	4.47
T O T O 株 式 会 社	520	3.54
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	477	3.25
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	384	2.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬 BIP信託口・75947口)	280	1.90
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/JANUS HENDERSON HORIZON FUND	273	1.86
ノリタケ取引先持株会	244	1.66

(注) 当社は、自己株式を129,460株保有しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



「CLUB NORITAKE」のアプリをリリース！

食器のオンラインショップならびに対象店舗でのお買い物でポイントを貯めたり、会員限定キャンペーンに参加したり、様々なサービスが受けられる「CLUB NORITAKE」。

その「CLUB NORITAKE」をより便利に使っていただける公式アプリができました。アプリが会員証になるので、会員カードの持ち歩きが不要となります。また、これまでの購入履歴がアプリで確認できるため、次回のお買い物の検討にも活用できます。

今後も、アプリを通じて、シームレスで快適なサービスを提供していきます。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。電子公告の掲載アドレスは次のとおりです。 https://www.noritake.co.jp/koukoku/
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日／中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元未満株式の 買取・買増手数料	無料
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお問い合わせ先

- 当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合は、株主様の口座のある証券会社等にお問い合わせください。
- 当社株式を証券会社等の口座にお預けでない（特別口座に記録された）場合は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までお問い合わせください。

コーポレートサイトのご案内

IR情報やニュースリリースなど、当社に関する情報を公開しておりますので、是非ご覧ください。



URL ▶ <https://www.noritake.co.jp/>



verdir

ヴェルディール

「verdir」はフランス語で、緑になる
という意味。『自然との共生』への
想いを込めた名前です。森に集う
人々をイメージし、楠のシルエット
と水彩タッチの葉を描きました。

Noritake